

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 19 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		近隣公園維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	辻 賢一郎
	施 策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	吉村 幸一
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	都市計画班	(内線)	2247
						法令根拠	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則		
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 4 コスト削減優先度評価結果 2
		1	8	4	2	10127			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S62 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 飯高山公園・竹迫城跡公園・蛇ノ尾公園・元気の森公園の管理について、管理組合を組織し草刈、樹木の剪定・消毒、清掃、トイレ保守、駐車場清掃等を委託し行う。									
【業務の流れ】 委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払事務									
【主な予算費目】 9旅費 11需用費 12役務費 13委託料 14使用料及び賃借料 18備品購入費 19負担金									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 維持管理を行った公園 箇所 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 公園 利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 近隣公園数 箇所 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公園を適正に管理できる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 苦情・要望数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 快適な住環境で暮らすことができる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 公園整備率(市民一人当たり公園面積) % イ 苦情件数とその対応率(騒音、振動、煤煙、悪臭) %

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							総 トータル コスト <	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

公園を地元区民が管理していくことが望ましい形であるということで、近隣公園(旧合志町所在)については地元住民により管理組合をつくり公園の維持管理を行うようになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

管理費については、業者委託等をするよりは安価に出来ていると考えられる。
設置から時間が経過し園内施設の老朽化があり、改修や新設の必要性がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民から施設の改修要望がある

事務事業名	近隣公園維持管理事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 公園を適正に管理できることにより、快適な住環境で暮らすことができることに結びつく
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公園管理のごく一部をボランティア作業に委ねることは可能かもしれませんが、継続的な維持を行うには市が事業を継続することが必要である
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象意図とも現状で適切である
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 達成状態で維持するものとする
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 維持管理を休止すると公園が荒廃し利用者がいなくなるばかりではなく、防犯上も好ましくない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公園管理は現時点でもボランティア的な作業が含まれており難しい
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理事務作業等はよりコストの安い職員や臨時職員での遂行は可能である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公園の利用は原則無料であり、一部の人へ負担を求めることが難しい

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ⇒ ③効率性について管理事務作業等はよりコストの安い職員や臨時職員での遂行は可能である。
---	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)